



栃木県立宇都宮高等学校

全
日
制



所在地 〒320-0846 宇都宮市滝の原3丁目5番70号
電話 028-633-1426
FAX 028-637-7550
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiya/nc2/>
創立 明治12年
課程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 840名（男子840名）（令和3年5月1日現在）
利用交通機関 JR日光線・鶴田駅より徒歩10分
東武宇都宮線・南宇都宮駅より徒歩15分
最寄り停留所関東バス・宇高校前より徒歩1分

I 学校の概要

（i）学校沿革

明治12年 2月13日 栃木師範学校附属予備学校を師範学校より分離し、栃木中学校として都賀郡藺部村に創立
明治12年10月13日 栃木県第一中学校と改称
明治18年 4月26日 県庁の宇都宮移転に伴い塙田村に移転
明治18年10月 6日 栃木県中学校と改称
明治19年 9月27日 栃木県尋常中学校と改称
明治26年 7月25日 河内郡姿川村（現在地）に移転
明治32年 4月 1日 栃木県第一中学校と改称
明治34年 5月17日 栃木県立宇都宮中学校と改称
昭和23年 4月 1日 宇都宮高等学校と改称
昭和26年 4月 1日 栃木県立宇都宮高等学校と改称

※令和3年3月現在 卒業生総数35,799名（高等学校全日制22,877名）

（ii）学校の環境・施設等の特徴

11万㎡を超える広大な敷地に恵まれた校庭の間をJR日光線が走っています。校内には数千本にも及ぶ樹木が育ち、宇高の森を象徴する杉木立、校庭を縁取る桜、ポプラや鈴掛の木など、初夏の新緑に秋の紅葉と四季折々の美しさを見せてくれます。日光線の北側に第1グラウンド、南側に第2グラウンドがあり、校舎に隣接して二つの体育館、武道場（自律館）、弓道場、文化部室などがあり、これらの施設を利用し放課後には41の団体（部活動・同好会等）が活動しています。

また、赤煉瓦の色鮮やかな校舎、旧本館である白亜の滝の原会館や歴史を感じさせる講堂など、落ち着いた雰囲気の中で勉学に励むのに適した環境が整っています。図書館は校舎の西に位置し、報恩館と中央閲覧室、自習室があります。報恩館は、昭和25年に卒業生の寄付により建てられた施設で、多くの蔵書が配架されています。平成27年3月には、卒業生の県への寄付をもとに自修館が完成しました。自学自修の場として平日及び土曜開放の日に開館し、公募で選ばれたリーダーと呼ばれる生徒を中心に運営しています。



【滝の原会館（旧本館）】



【自修館】

(iii) 「学校教育目標」・「目指す学校像」・「募集する生徒像」

1 学校教育目標

全人教育をととして調和のとれた人格の完成を目指し、新しい社会を創造しその担い手となる人物を育成する。

2 目指す学校像

○全ての教科に全力で取り組み、真理探究の態度を育てる学校

○心身ともに健やかで、自他の敬愛と協力を重んじる態度を育てる学校

○正しい判断力とリーダーシップを身に付け、自らの規範に従い主体的に行動する態度を育てる学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、次の(1)から(3)までの全てに該当する生徒

(1) 自らの可能性を強く意識し、知的探究心に富んだ生徒

(2) 積極的に部活動や生徒会活動などに取り組み、仲間と切磋琢磨する生徒

(3) 未来を切り拓くため、理想をもって自ら考え行動する生徒

II 学校、学科、コース、教育課程等の特色

学科は普通科のみで、学習する教科と週あたりの時間数など、教育課程の概要は下表のとおりです。

○教育課程の概要（令和4年度入学生）

		国語	地歴	公民	数学	理科	保体	芸術	英語	家庭	情報	総合
1年		5	4		5	2	4	2	6	2	2	1
2年	文類型	5	4	2	6	4	4	1	6			1
	理類型	4	2	2	6	8	4	1	5			1
3年	文類型	6	8		5	4	2	1	6			1
	理類型	5	2		7	10	2		6			1

- ・令和4（2022）年度入学生より進学型単位制高校に替わります。3年の斜体字になっている教科は、学校設定科目が置かれ、自分の希望に合った授業を選ぶことができます。
- ・授業はロングホームルーム1時間を含めて、1年から3年まで週34時間です。
- ・2年からは各自の適性、興味・関心、希望進路に基づいて文類型・理類型の二類型に分けたクラス編成を行います。地歴・公民や理科以外の教科は文・理ともほぼ同じ時間数で、広い知識や教養を身に付けて社会で活躍する人物の育成を目指したカリキュラムとなっています。
- ・3年からは国語・地理歴史・数学・理科・英語の5教科において学校設定科目を置き、各自の適性、興味・関心、希望進路に対応した発展的・標準的な内容、教科によっては基本的な内容を学べる授業を開講します。自らの意志によって選ぶことができるため受け身にならず積極的に授業に参加することができるカリキュラムとなっています。
- ・3年間すべての教科・科目に全力を尽くす「全教科主義」を重視しています。中学生の時に比べると内容が深く、また進度も速くなります。予習をしっかりとて授業に臨む姿勢が大切です。
- ・授業の補充、深化、発展的な内容の学習、知的好奇心の高揚を目的として、「土曜講座」を年間8回程度実施しています。
- ・通常の授業内容にとどまらず、より広い学習や学問探究を目的として「滝の原教養講座」を実施しています。多くの講座は希望参加で、大学や研究機関と連携し、多岐にわたるプログラムを実施しています。
- ・批判的思考・協働的思考・創造的思考のさらなる育成を目的として、『総合的な探究の時間』を中心に「課題研究」を実施するなど、教科横断的な学習、課題研究や探究学習の実践に取り組んでいます。



滝の原教養講座（ケミストリーⅠ）



「課題研究」成果発表会（ポスターセッション）

Ⅲ 進路状況

本校生は毎年ほぼ100%の生徒が大学進学を進路として選択しています。特に、難関国公立大学を第一志望として勉学に取り組む生徒が多く、「滝の原精神」のもと、最後まであきらめずに入試に向かいます。令和3年3月卒業生については128名が国公立大学へ、51名が私立大学へ進学しました。令和3年度入試合格者は過年度卒業生も含めた延べ人数で、国公立大201名、私立大学557名でした。そのうち国公立大学の医学部合格者は21名です。合格者の多かった国公立大学は東北大学、東京大学、新潟大学、宇都宮大学で、私立大学は慶応義塾大学、東京理科大学、明治大学、早稲田大学です。本校での授業にしっかり取り組めば志望校に合格できるという信念を貫いた結果が現れていると言えます。

○主な大学の合格者数（令和3年度入試、既卒生を含む）

北海道大8、東北大41、筑波大9、宇都宮大12、千葉大7、東京大19、東京工業大3、一橋大6、横浜国立大4、新潟大11、京都大9、大阪大3

慶應義塾大33、中央大49、東京理科大64、日本大34、法政大43、明治大69、早稲田大45

Ⅳ 特別活動等の紹介（学校行事、部活動等）

本校では「学業プラスワン」を掲げて、非常に多くの生徒が、勉強だけでなく学校行事、部活動、生徒会活動などにも積極的に参加しています。中には複数の部に加入して活動をしている生徒もいます。それぞれの場において存在感を発揮しながら、多くの生徒が進路実現も同時に果たしているのが本校の特徴と言えます。

1 学校行事

季節ごとに、様々な行事や活動が行われます。

《4月～9月》 校内体育大会、合唱コンクール、水泳大会、福祉施設訪問、ホームルームキャンプ（1年）、大学説明会、進学座談会（1、2年）、宇高祭、進路研究発表会、課題研究発表会、PTS話し合いの会、柔剣道大会（2年）

《10月～3月》 進路講話、名士講演会、福祉施設訪問、全校マラソン大会、研修旅行（2年）、「第九」演奏会、創立記念式・講演会

◆研修旅行（11月末または12月初旬）

3泊4日のうち、第1日目は本校卒業の先輩方の協力を得て、首都圏研修を行います。事前学習をもとに一般企業や官公庁・大学・研究所などを訪問して、進路を考える一助にしています。



体育大会（5月）



合唱コンクール（7月）



柔剣道大会（9月）



マラソン大会（11月）

2 部活動一覧と活動状況

令和3年度の加入率は運動部58.5%、文化部・同好会62.6%でした。毎年多くの部が全国大会や関東大会に出場し活躍しています。世界大会に出場する部もあります。

- 【運動部】 野球、サッカー、バスケットボール、ラグビー、バレーボール、テニス、ソフトテニス、卓球、水泳、陸上競技、柔道、剣道、弓道、登山、バドミントン、応援団
- 【文化部】 演劇、音楽部管弦楽団、音楽部合唱団、文芸、美術、書道、英語、化学、生物、写真、JRC、放送、新聞、数学、地理、天文、鉄道研究、囲碁、将棋、社会福祉、百人一首かるた
- 【同好会】 漫画研究、クイズ研究、料理研究、ダンス



剣道部



演劇部（自主公演）

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科10%程度

2 出願するための資格要件

本校での学習に適応できる十分な学力を身に付けており、次の（１）、（２）のいずれかに該当する者

（１）中学校における特別活動など、あるいは校外での勤労生産・奉仕・社会活動などの分野で、自発的かつ長期的に活動し、個人もしくは集団のリーダーとして、その活動が客観的に極めて高く評価される実績を有している者。さらに、入学後もその活動を生かし、本校の教育活動において積極的かつ継続的に活動する意志のある者

（２）中学校等での文化活動、スポーツ活動などにおいて、個人もしくは団体の中心として、その活動が客観的に極めて高く評価される実績を有している者。または、栃木県中学校体育連盟の優秀選手、有望選手（奨励賞受賞者）としての選出を受けている者。さらに、入学後もその活動を生かし、本校の教育活動において積極的かつ継続的に活動する意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間15分程度
小 論 文	時間60分 字数500～700字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分及び面接の結果から、資格要件に該当する実績について段階評価を行う。
- 4 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に審議し、総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2、3の評価がいずれも優秀である者で、【資料の取扱い】の4の評価が優秀または良好である者を対象とし、合格内定者を選抜する。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。